

まちプロ会議

第6回

2024.07.24

19:00~20:30

In 蒲郡商工会議所
コンベンションホールA

- ポートタウンまちづくりデイズを終えて
 - アンケート結果、効果検証結果の報告
 - ガマゴーラウンド、照明社会実験の振り返り
- 今後の流れについて
 - 今後の取り組み（しくみづくり）の説明
 - R6年度のスケジュール

ポートタウンまちづくりデイズを実施しました！

2024年6月1日（土） 15時～21時
6月2日（日） 9時～15時



ポートタウンまちづくりデイズ 俯瞰写真



アピタまえに並ぶ様々なお店



芝生の上で歩く人々

2024年6月1日～2日にわたり、蒲郡東港地区の蒲郡駅から竹島ふ頭にかけて『ポートタウンまちづくりデイズ』を開催いたしました。また、同日スピンオフ企画として蒲郡駅側の商店街エリアでは、『GAMA-GO-ROUND』を実施しました。



GAMA-GO-ROUNDスタンプラリー開始地点



来場者の方々から寄せられた声



夜の会場の様子



GAMA-GO-ROUND会場の様子



モバイルメディア実験



照明社会実験で照らされた竹島ふ頭

蒲郡市みなとみらい課 成瀬さんからのコメント

ポートタウンまちづくりデイズでは、多大なるご支援とご協力をありがとうございました。蒲郡東港地区の再開発を進めていくための検証データを十分に得ることが出来ました！

- アピタまえ歩道から竹島ふ頭の南北軸の具体的な整備に向け、スピードを早めていきます。
- 皆さんと一緒にまちづくりを進めていくため、今後ご協力をお願いしたいです。



蒲郡東港パートナーズ 忽那さんからのコメント

社会実験では蒲郡市民の皆さんの力を体感しました。今後もまちプロ会議を重ね、引き続き一緒に蒲郡東港地区を盛り上げていきます。

- 今後は、市民の皆さんが主体的に活躍できるような機会を沢山創っていききたいと思います。
- まちプロ会議の中に分科会（チーム）をつくり、より具体的に進めていきます。



検証結果をふまえて、今後マスタープラン

- 1 港エリア、歩道空間（未利用地）活用の有効性とニーズ
- 2 安全で楽しい歩行者中心の空間への再編
- 3 蒲郡のシビックプライドに繋がる玄関口の風景を構築
- 4 みどりの空間の重要性、快適な滞留空間の確保
- 5 日常と非日常が共存できる広場の空間
- 6 表現する場、活用する場
- 7 フォーカルポイント、視線の誘導
- 8 多様なニーズに対応する休憩施設・日陰
- 9 全天候型の施設
- 10 活用しやすい導線や設備
- 11 活動拠点となる場
- 12 安心安全で新たな魅力となる照明



しくみづくりとは？

今後東港地区のまちづくりを進めるため、部会の立ち上げを行います。



まちプロジェクト会議

- ① 「マスタープランづくり」東港まちづくりの合意形成を図り決める場
- ② 各チームの情報共有とネットワークづくり
- ③ まちプロ会議の運営の仕方や今後のあり方を一緒に決めていく

プロジェクトチーム(部会)とは

- ① 皆さんが主体となり運営・活動するもの
- ② パートナーズは後方支援（人工的、金銭的支援ではない）
- ③ デザイン会議やまちプロ会議のプラットフォームを活用できる
 - ・マスタープランへの反映
 - ・情報共有、繋ぎの支援

今後のまちプロ会議スケジュール

※日時は変更となる場合がございます。



ポータウンまちづくりデイズを受けて一言コメント 出店者、サポーター、来場者など当日来てくださった皆様のご意見をいただきました。

まちづくりデイズの良かったところ

空間デザイン

- 東港の活気を感じられた
- 雰囲気がいい
- すごくおしゃれな2日間だった
- 装飾が綺麗だった
- 花手水で多くの人が引き寄せられていた

めずらしさ

- 蒲郡の中でも珍しいイベントであった
- 今まで見たことのないタイプのイベント
- 見たことのない出店者がそろっていた

魅力の再発見

- 蒲郡のいいお店を再発見できた
- 市内のお店を再認識できた

照明

- 照明によるライトアップが美しい
- 電柱を照らす照明が非常に良かった
- 夜も全体的に明るい印象になっていた

交流

- 沢山のひとと交流出来た
- 蒲郡市外の人、沢山意見を出してくれた
- 仲間同士、さらに仲良くなった
- 広報のSNSを通して様々な人と仲良くなれた
- まちづくりをしたい人と繋がれた

市民からの需要

- 駅北商店街に初めて来た人が多かった
- 住みたいと思える街だった
- 宣伝が少ない割には、多くの来場者がいた
- 前日準備から興味を持っている人が多かった
- 来場者が楽しそうだった
- 非日常を体験できた。これを日常化したい
- 自分も買い物を楽しむことが出来た

年代

- 子どもが興味を持って参加してくれた
- 来場者の年代がばらけていたのが良かった

経験

- お手伝いでもかなりいい経験になった
- 有意義な2日間だった
- 自分のためになった

まちづくりデイズの課題点

PR不足

- 広報のタイミングが遅かった・足りなかった
- チラシが学校に配架されず、子供が少なかった
- 幼稚園に広報できるとよかった
- 周辺地域の回覧でイベント周知が必要だった
- ライトアップ情報の広報が必要だった
- 駐車場利用の周知が足りない

認知度の低さ

- 認知度が低かった
- 蒲郡市内の従業員も知らなかった
- 事前に何のイベントか聞かれる事が多かった
- 近隣住民に何のイベントか聞かれた
- 市外への認知も欲しい
- 駅を降りてからの引き込みが足りない

夜間の安全性

- モニュメントひろばは対面店舗が遠く暗かった
- 来場者駐車場の迂回ルートが夜暗かった
- 駐車場は真っ暗だった
- 普段よりは良かったものの、ふ頭部分は暗い

雨天時の対策

- 雨天時の対策検討が必要
- 屋根が足りず雨に打たれた時間があつた

周辺への配慮

- 音響問題など周辺住民への配慮が必要
- スピーカーの向きの配慮が必要

運営プログラム

- 特産物（深海魚）を買う人が少なかった
- 海にちなんだプログラムも欲しかった
- 1日目の15時開始は遅かったのでは
- 他のブースを回ることが出来なかった
- 学校の授業の一環として学生に来てほしかった

会場計画

- モニュメントが小さかった
- 駐車場のボリューム検討が必要
- 飲食しながら休憩できるブースが少なかった

その他

- 参加者が少なかった
- 三谷のシャッター街が閉鎖的

今後東港地区で期待すること

活用・プログラム

- 海を活かしたレジャーが欲しい
- 景観を活かしてリラックスできるプログラム
- スポーツ施設など遊び場が欲しい
- 年代を問わないプログラムが欲しい
- 子どもが楽しいと思える場所にしたい

イベント・にぎわい

- イベントを継続して実施したい
- 今後、市民の参加率があがるといい
- 蒲郡にはない、新たなものの掛け合わせ
- ほどよいゆとりのあるイベントを実施

教育

- 教育に携わる人に活動を広める
- 様々な年代の学生に、活動を広めたい
- 子どもの参加は、大人が関わるきっかけになる
- 若い人の意見を聞く場が欲しい
- 子どもボランティアと連携する

施設・設備

- 照明を早く常設にしてほしい
- 日中は暑かったため、ふ頭には屋根が必要
- 雨をしのげる場所、飲食ブースが欲しい

駅前の改善

- 駅前付近に人が集まる仕掛けが欲しい
- 蒲郡駅を降りた場所にPRするものが欲しい

今後への関心

- 今後活動に参加することが楽しみ
- 蒲郡市外の人を受け止める未来が楽しみ
- 日常にも新たな発見が欲しい
- 同じ意識をもった人とつながりたい

目指したい東港の未来

- 近隣の街との調和
- より活気づく東港地区がいい
- 横浜のように日常を楽しめる場所が欲しい
- 今後、市民の参加率をあげたい
- ベッドタウン蒲郡を抜け出したい
- 日常的に楽しめるところが欲しい
- 商業などのビジネスとつなげる

今後取り組んでみたいこと

イベント

- 次回はレベルを上げて実践したい
- マルシェなどを行ってみたい
- 今後、お手伝いをしてみたい
- 平日開催の実証実験もやってみたい
- 早いうちに再度イベントを打ちたい！
- ダンス中心のイベントをやりたい

まちづくり

- 商店街では、居住環境と生業づくりが必要
- 今ある蒲郡の資産に目を向けたい
- 子どもが楽しいまちづくりをしたい
- 街を活性化する取り組みをしたい

その他

- 自分自身の収入に繋がるようなことをしたい
- 平日にも人が訪れるしくみをつくりたい

